

事業名：江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）

顔づくり推進室都心開発課

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	04 市街地整備の充実								
基本事業	01 江別の顔づくり								
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成36年度	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・土地区画整理事業施行地区
- ・土地所有者及び関係権利者

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・土地区画整理事業により公共施設等を整備するとともに、宅地の利用増進を図る。
- ・平成18年度事業着手以降、減価補償用地の取得等を経て、20年度より建物等物件移転及び道路等公共施設整備を行う。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・鉄道高架と併せ、土地区画整理事業により南北一体化した市街地整備を図る。
- ・土地区画整理事業により宅地を再編し土地の利用増進を図る。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標 1	施行地区	ha	10.6	10.6	10.6	10.6
対象指標 2	地区内の土地所有者等関係権利者数	人	144	142	135	—
活動指標 1	説明会等回数	回	216	209	259	—
活動指標 2						
成果指標 1	区画整理計画達成率	%	5	13	24	—
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	397,218	789,245	1,309,181	1,284,544
正職員人件費 (B)		千円	72,234	80,160	78,130	78,240
総事業費 (A + B)		千円	469,452	869,405	1,387,311	1,362,784

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・北口駅前広場、鉄西線の工事 ・物件補償 ・物件調査委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路等工事費 502,777千円 ・物件補償費 661,809千円 ・物件調査等委託費 66,908千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
江別の顔づくり事業は、市長公約新総合計画「15万人都市プラン」の政策基軸に位置付けられ、平成7年度より都心地区整備計画の検討を開始した。	
事業を取り巻く環境変化	
<p>「江別の顔づくり事業」は、市の行財政改革と整合を図り、市の身の丈（財政計画）にあった事業規模としつつ、高い事業効果が求められている。第5次江別市総合計画 基本計画（H16～）においても、「江別の顔づくり事業」は、都心地区を整備し市街地の整備充実を図り、快適な都心（中心市街地）の形成を目指している。</p> <p>これまでの関係機関協議や住民意見等を踏まえてまとめた計画概要及び事業内容を「都心地区整備基本計画」として策定し、平成17年6月に公表した。</p> <p>平成18年6月に都市計画決定、11月に事業計画決定を行い事業に着手した。</p> <p>また、平成24年度に江別の顔づくり事業の基幹事業であるJR函館本線連続立体交差事業（北海道施行）が完了したほか、平成25年度までに鉄道高架の交差道路や高架下駐輪場の整備が完了した。</p>	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由根拠 ・土地の高度利用による商業・業務の集積や、市民のくつろぎ空間の創出を図り、駅前広場、都市計画道路等の公共施設の整備・改善を行うことを目的とすることから、都市計画事業として市施行で行うことが妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由根拠 ・江別市の都心づくりを実現すべく、鉄道高架と併せ土地区画整理事業により、公共施設の整備改善を行い都市の再生・再構築を図る。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でない理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由根拠 ・道路整備の前提となる建物移転について、一部の仮換地協議や補償協議が整わなかったため遅延が生じている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由根拠 ・道路等整備の進捗率を迅速に向上させるためには、円滑な建物移転が不可欠である。しかし、多数の権利者（商業者、建物所有者、借家人など）相互の調整を経ながら移転への同意を得ていくためには、各権利者が生活再建を十分に検討できる時間的猶予も必要であり、また事業工程も非常に複雑であることなどから、一概に成果の向上を図ることは困難である。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠 ・予算については、事業内容を精査し必要最小限の事業規模とした。 ・所要時間については、上記（4）と同様の理由により事業期間の短縮は容易ではないが、今後事業工程の見直しにより所要時間短縮に繋がるよう検討を行っていく。